

4

大学ポック

清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <http://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>

Mail: kiyomigata@mail.wbs.ne.jp



清見潟大学塾

第三十八回度 開講式を迎えて

塾長 牧田まさ子

令和四年三月二十六日、二年ぶりに清見潟大学塾の三十八回度の開講式が、静岡市長 田辺信宏様、市議会議長 鈴木和彦様、教育長 赤堀文宣様、清水区長 堀池明様、生涯学習推進課長 宮城島清也様、五名の来賓をお迎えし、一講師、一塾生と一部縮小して「ふれあいホール」にて行われました。祝辞を賜り、講師宣言を行いました。祝辞を賜り、講師宣言を行いました。祝辞を賜り、講師宣言を行いました。

議会、清水区内生涯学習交流館の皆様のご指導、ご理解、又、講師、塾生の協力のおかげと、心より厚くお礼申し上げます。

三十八回度は役員改選の年に当たり、不肖、私、牧田が二期目の塾長を仰せつかい、副塾長に原田春佳講師が留任、第二学部より石渡裕子講師が新任で総会にて承認されました。岩崎芳和副塾長には小川晶久先生の急逝に依り急にお願いをし、三年間、とてもお世話になり、有難う御座いました。又、宜しくお願い致します。事務局でございますが、澤野裕幸氏から退任の申し出があり、杉山健太郎氏が新たに就任を了解されました。宜しくお願い致します。

修了作品展、ステージ発表会にははみがついたと思います。どうぞ一年間、楽しみながら講座に通って下さい。コロナと共生しながらも、こうして開講できますのも、静岡市生涯学習推進課や清水区生涯学習運営協

再来年は清見潟大学塾創立四十周年を迎えます。講師、塾生、関係者の皆様で知恵を出し合い、楽しい「イベント」が出来ればと思います。ちなみに三十八回度は講座数、

百一講座、講師五十九名、塾生千三百四十八名でスタート致します。講師、塾生の高齢化「コロナ」の影響で七講座が閉講し、新講座一、講師の引継ぎ講座が三、増設講座が二となりました。毎年の事ではございますが、どうぞ生涯学習の楽しさを共に分け合えます様、友人、知人に途中入塾をお勧め下さるようお願い致します。

先の見えない日々が長く続くと、つい確かなものに掴まりたくなるものです。短く、くつきりと書れた、わかり易い言葉。これさえすれば解決するといった指南。でも、悩んだり逡巡したりすることは、そんなに悪いことかな、と思うのです。道の半ばで立ち止まり、しばし考えること。日々の地道な仕事に手を動かしながら、何かが見えてくるのを、ただじっと待つ。私達はあまり、あせらずにいこう。暖かい地面に植えた苗がすくすく育ち、何気ない料理をおいしく作って味わい、きちんとアイロンがけた服で街に出る。そんなおだやかな暮らしのなかに「確かさ」は満ちているのだから。

暮らしの手帖より



三十八回度 講師総会開催

三月十三日十時から、辻生涯学習交流館に於いて、五十九名出席(委任状七名)のもと、講師総会が開かれました。

最初に牧田塾長が「三十七回度はコロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が発令され、講座が休講となり振替の日程で講師の皆様、大変ご苦労された事と思います。三十八回度の開講式は来賓の方の出席も予定されておりますので、二年振りに開催させて頂きます。感染対策をしっかり行いたいと思います。これで修了作品展やステージ発表会にはずみがつくのではと期待いたします。再来年度は四十周年で



牧田まさ子塾長の挨拶を聞きいる講師陣

す。皆様で知恵を出し合い、楽しい「イベント」を作り上げたいと思います。と挨拶されました。

三十八回度の陣容は講師五十九名、講座数は百一講座であることが発表されました。

次いで、今回度の新講師一名と引き継ぎ講師二名が紹介されました。

新規講師の料理教室Ⅰ・Ⅱ

『メデイカルアロマ』神谷真由美講師

堀 享子 講師



『話を楽しもう』

引き継ぎ講師 金澤実幸 講師

『オカリナを吹こうⅢ』

川崎昌子講師



堀内宗征 講師

『はつらつ健康運動A・B』

遠藤明子講師



統講師表彰では昨年表彰

表に戸口謙津子講師副塾長表彰

は那議事録講師末太郎静苑講師、丸山

翠愚講師議事録芳子講師因襲事業報告

責、仮決算報告、回度末年度事業決算

委員子講師、佐発表、講師、認澤、末

講師、二十年表彰に齊藤美代子講師、

石渡裕子講師の渡辺正弘講師、藤澤、

希未講師、渥美、事業、株、制を、強、編、表、彰

寄永陸子講師、表、彰、講、師、の、再、任、を、去

る二月十三日、理事会に上程し理事の承認を得たことを報告しました。そして総会に於いて出席者全員の賛成で承認されました。副塾長について牧田塾長の指名により、原田春佳講師が再任、石渡裕子講師が新任として、事務局長についても同様に杉山健太郎氏が指名され、講師総会の承認を得て決定しました。

次いで、各学部ごとに分かれ学部長中心に理事の選考にりました。

左記の方々に決定・承認されました。

新理事 (敬称略)

第一学部長 植田靖子

理事 丸山翠心 西島春華

第二学部長 深澤多希子

理事 小嶋 博 鈴木節子

第算室部長 藤野和穂

今後理事塾、匯、協、任、予、以、て、望、野、政、強、化

策、決、提、案、を、い、た、だ、き、理、事、会、に、て、検、討

す、添、い、ど、ど、な、な、年、以、来、に、統、続、講、師、記、念、品

(多機能、総会を塾長が、開、講、は、必、要、な

年、統、続、き、要、項、の、説、明、に、入、り、ま、し、た。

事務手続、倉、議、題、を、終、了、回、講、座、は、四、月

三、の、日、後、月、開、講、講、座、要、資、料、説、明、日、本

交、ま、し、関、係、書、類、等、の、提、出、を、お、願、い、し、ま

した。

オ、リ、ン、ピ、ク、の、実、施、に、よ、り、祝、日、が

変、わ、り、ま、し、た、学、部、別、日、程、表、も、部、変

更、し、皆、様、が、は、し、年、間、お、寄、せ、頂、き、ま、し、と、祝、明

七、月、五、募、金、を、三、月、二、十、五、日、清、水、区、自、治

会、連、合、会、が、主、催、す、る、静、岡、市、清、水、明、る、い

三十八・三十九回度 三役紹介します (正副塾長・事務局長)

塾長 牧田まさ子 講師(再任)

母さんの味を

作ろうⅠ・Ⅱ



男の料理教室Ⅰ・Ⅱ

副塾長 原田春佳 講師(再任)

楽しいボールペン習字

初めてのペン字



副塾長 石渡裕子 講師(新任)

やさしいお箸

三味線Ⅰ・Ⅱ



事務局長 杉山健太郎 (新任)



社会づくり推進協議会(明社協)に寄付致しました。

金額は三八、八〇〇円です

(三十二講座の協力により)

今年度も引き続き一円玉募金を続

けていきますので、ご協力をお願い

致します。



一品目「鶏肉と小エビのクリームグラタン」完成、二品目「新玉ねぎのコンソメ」に挑戦

男の料理教室 II
塾生 安藤 信一
若い頃、よく山に出かけ簡単で定番のカレー、或いは野菜炒めなどキャンプ料理を楽しんではいたが、偶然清見潟大学塾の料理教室を知り、昨年の四月から参加しています。
殆どが会社をリタイアされた男ばかりの六十歳後半から八十歳代？方の集まりで、みんな不器用そのものです。
コロナ禍の中でもありマスク着用しての料理です。マスクを外さないから全体の顔が解りません。一年近くになるが未だに全員の名前と顔が一致



しません。
講座では毎回二品目以上教えて貰います。三人が一テーブルで料理をしますが、それぞれ各人が教えに沿って、材料を切ったりします。
「千切り、みじん切り」して下さいと先生に言われても不器用な包丁さばきで、三人分を合わせると太さや長さが違い不揃いです。出来上がりをみると正に男の料理でそれなりに面白く、楽しいです。
十二月にはお節料理を教えて貰いました。だて巻き、とりの黒酢煮、錦玉子、豚肉の昆布巻き、これらは今年我が家のお節料理のレパートリーに加え、先生のレシピに沿って私が全て作ってみました。
正月には我が家に川崎、大阪、名古屋から帰省した子供、孫全員が揃い、私のお節料理を美味しいと喜んで食べてくれました。更に今年は恵方巻も挑戦しました。
講座では先生の指導もあって具は中心に来て上手く巻けたが、我が家で自分がやると具が中心に来なくて、上手に巻けませんでした。巻き寿司に再チャレンジしようと、細巻きの鉄火、カツパ巻きを作ってみました。これも中々具が中心に来ません。何度か練習したいと思います。

家内はシウマイが好物で、家で作って欲しいとリクエストがあり、作ってみました。大変喜んでくれました。残念な事は八月、九月に緊急事態宣言があり講座も中断を余儀なくされ、秋の交流館祭りも行われず、われらの料理を披露することが出来なかった。出品出来たら又楽しかったと思われず。
教室の仲間ともマスクを外して会話ができるも、もつと楽しいでしょう。新年度も継続していきたい。
今年の名前と顔を早く覚えるように、したいと思います。
【会場】辻生涯学習交流館
第二、四金曜日 九時～
講師 牧田まさ子

展示会・発表会のお知らせ

◎「創作キルト」展

開期 四月一日(木)～十五日(木)
会場 興津生涯学習交流館
講師 木下かつ美
講座日 辻生涯学習交流館
第一・三月曜日十三時～

◎「二閑張教室作品」展

開期 四月十六日(金)～十八日(日)
会場 まちかどギャラリー
清水駅前銀座商店街

展示会報告

講師 中川昌昭
講座日 不二見生涯学習交流館 第一火曜日十時～
◎「書道三講座」
開期 五月六日(金)～三十一日(火)
会場 岡生涯学習交流館
講座日 「書道・蓬会」
第一・三月曜日九時半～
「入門『実用書道』」
第一・三水曜日十九時～
「筆のたのしみ」
第一・三木曜日十三時半
講師 太田静苑



岡生涯学習交流館で「実用書道教室A・B」が展示
2/22～3/10日の間 開催



初心者茶道教室

塾生 山西睦子

「まず右足から立って」という先生の一言に「アレー右足どっち？左足は？」と皆の反応頭ではわかっていないのに体が思うように動かない、最初のお教室でした。

お茶の先生と言うと厳格な方と思いきや、堀内先生は誰かれと分けへだて無く指導して下さい、とても愛らしく、私達と年齢も近い事もあり、友達感覚の先生です。

しかし、その知識の豊富さは、道具、掛け軸、花等々私達が見過ぎて来た四季折々の変化を気付かせてくれます。



お茶の作法により、薄茶点前を練習する塾生

稽古中は和室に笑いが溢れていて、一つ一つの所作に使ってない脳をフル回転させて、花鳥風月を感じる癒やしのほんの一時を過ごしています。

日々の疲れ、気苦労のなかに一服のお茶をただ楽しむ為に茶碗を道具を選び支度します。

「ちよつと敷居が高い、堅苦しい」と思っではないませんか。

美味しいお菓子とお茶を頂くそんな軽い気持ちで、昔習っていた方、お茶に興味のある方は是非一度教室をのぞいて下さい。

【会場】入生涯学習交流館

第一・三火曜日 九時半～

講師 堀内宗征

エンジョイウクレレ教室

塾生 日栄眞澄

「エンジョイウクレレ教室」は第三十七回度誕生した新しい講座です。講師は藪崎晴美先生です。塾生は男性四名・女性十四名で、一回生としてスタートしました。最初の授業では、「ウクレレの各部の名称、持ち方、調律法などを勉強しました。毎回授業の初めに基礎練習を繰り返し繰り返し行います。音階(ドレミ)ストロ



楽曲を弾くため、講座の初めに基礎を

練習する塾生

ーク(指の動かし方)。この基礎練習で動かなかった指も動き、リズム感も出て、自然に歌も口ずさむようになりました。先生の優しく丁寧な指導で揃って演奏した「キラキラ星」は、忘れられない一曲です。指も思うように動かなかった私が弾けたのです。感激でした。何回も練習し完成すると先生から次の練習曲の楽譜が配られます。そしてその都度、曲の説明、手指の動かし方など勉強し新しい知識を頭に入れていくのですが、私は覚えられなくて大変苦労しております。映画音楽の「第三の男」「茶色の小びん」や「聖者の行進」「スワニー河」「ダニーボー」など、私が青春時代に歌ったり、聞いた大好きな曲ばかりです。冬の季節には「冬景色」「冬の星座」春に

なつて「どこかで春が」「早春賦」と、春の曲は現在練習中です。

私達一回生は春の歌を完成させ、新しい曲に挑戦すべく揃って三十八回度の塾生となります。そして息の合った素晴らしい演奏が出来る様に藪崎先生の指導の元、練習して行きます。

私はウクレレの優しい音色に魅せられ塾生になりました。落伍しそうな時、先生、クラスメイトの皆さんに助けられ続けられました。今は「弾ける喜びと歌える楽しさ」を染みじみと味わっております。「ウクレレ」は形も小さく持ち運びにも便利です。これからのお花見の季節、美術館の桜の下で演奏出来たらさぞ心踊ることでしょう。夢みる今日この頃です。

【会場】辻生涯学習交流館

第一・三火曜日十三時半～

講師 藪崎晴美

一円玉募金

(三月二十五日までの募金です)

- ◇誰でも知ってる歌・唄・うた◇一閑張◇男の料理教室Ⅱ◇母さんの味を作ろうⅠ・Ⅱ◇簡単ツールペイント◇里山歩きを楽しもうⅠ◇筆のたのしみ◇書道「蓬会」◇入門「実用書道」◇日本舞踊初心者◇里山歩きを楽しもうⅡ